

前回定例会以降の動き

柏崎市危機管理部 防災・原子力課

1 安全協定に基づく月例状況確認【1月11日】

新潟県・刈羽村と共同で以下について、状況確認を実施した。

- ・発電所における除雪対応
- ・7号機電源構成

以上

令和5（2023）年2月1日

柏崎市危機管理部防災・原子力課

委員ご質問への回答

<本間委員>

避難経路所は示されているが、最終的な避難所は示されていない。人口約4万人の糸魚川市で柏崎市民2万6千人の受入れ施設が用意されているのか。避難所を公開してもらいたい。

【回答】

御意見を踏まえ、改めて避難所の公表について検討を行いましたが、未開設避難所への避難や避難所変更による混乱を起こさないことが円滑な避難に繋がると判断し、従来の方針どおり避難経路所のみの公表といたします。

原子力災害時の新潟県広域避難マッチングにおいては、避難所は、原則、市町村が地域防災計画等で指定する避難所としており、避難者の想定はPAZ人口とUPZ人口を合わせた人数を避難者の最大数として調整を行っております。

引き続き、他の自治体の状況をみながら、検討してまいります。

令和5（2023）年2月1日

柏崎市危機管理部防災・原子力課

委員ご質問への回答

<宮崎委員>

◎1 住民避難訓練における“避難所までの訓練”について

1. 令和3年の写真に写された避難所は、柏崎のどの“町内”が入る避難所でしたか。収容世帯数と人数は何名か、
3. バスで行った高齢者は、どの部屋で生活するのですか。間仕切り部屋ですか。
5. 初期段階の避難所運営に当たる「妙高市」の職員はどの部屋（場所）にいるのですか。
6. その“町内”から来る自家用車の駐車場はどこですか。
駐車場が奪い合いにならない対策はどうなっていますか。
写真に写された避難所の建屋図を示して説明してください。
なお言えば、私の避難経路所は、妙高市の”杉ノ原スキー場“です。
7. 杉ノ原スキー場を避難経路所とした避難訓練が行われたことがありますか。

【回答】

質問1について

令和3年度の訓練では、避難所であった妙高市総合体育館に、西中通地区の37人が避難しました。

なお、避難所については、避難先の市町村と調整し、避難経路所で受入れ準備が整った避難所を案内するという想定で訓練を行っております。

質問3について

避難所は、原則、市町村が地域防災計画等で指定する避難所としており、各避難所の避難スペースに応じて設営します。高齢者のうち配慮を要する方には、受入れ先の避難所開設マニュアルなどにより、福祉避難室として避難所内に居住エリアと区別する仕切りや和室などの個室を、各避難所の避難スペースに応じて設けることとなります。

質問5について

避難所運営職員のいるスペースについては、各避難所の避難スペースに応じて設けることとなります。

質問6について

まずは避難所の駐車場を使用し、避難所の駐車場が不足する場合は、近隣の公共施設などの駐車場を活用することとしています。

質問7について

避難経路所である杉ノ原スキー場での訓練については、未実施ではありますが、これまでの訓練の改善点などを踏まえ、今後、訓練を行ってまいります。